

**H21 まるりん展 受賞者発表**

<p><b>ぽんちゃん賞</b> 板垣 翔太 (永田:11才)</p>	<p><b>しゃらひめ賞</b> 日高 亜美 (原:11才)</p>	<p><b>しゃくりん賞</b> 織田 琉矢 (尾之間:10才)</p>	<p><b>しじみん賞</b> 菊池 菜月 (船行:10才)</p>	<p><b>えびちゃん賞</b> ふじえだ たまは</p>
<p><b>とびくん賞</b> 寺田 恵 (宮之浦:10才)</p>	<p><b>まるりん賞</b> 川崎 ねね (松峯:9才) 布 菜月 (永田:10才)</p>	<p><b>きつき一賞</b> さかの りんか (志戸子:8才) 板垣 凜香 (永田:10才)</p>	* 敬称略	
<p><b>かみ ももか</b> さくらん賞</p>	<p>岡本 こう太 (原:7才) 布 和太 (永田:8才)</p>	<p>有馬 花琳 (春牧:6才) やじま そうま (5才)</p>	<p>寺田 まなか (宮之浦)</p>	<p>小川 真城 (宮之浦:0才)</p>
	<p><b>やくじい賞</b></p>	<p>しかお賞</p>	<p>うみちゃん賞</p>	<p>あかっこ賞</p>

屋久島を学ぼう！

～「出張！屋久島研究講座」から～

8/3に、宮浦中学校で、出張！屋久島研究講座（宮浦中学校職員研修）が行われました。

今回は、屋久島まるごと保全協会幹事の手塚賢至さんを講師として、宮浦中学校の職員を対象に、「屋久島の概要と現在かかえる課題」についてお話をいただきました。時折、質疑を繰り返しながら和気あい



あいの中にも、現在の屋久島の抱える課題についてじっくりと考える機会になりました。

おしかった!?

**ドラゴンボート大会出場！！**

8/2に行われた第2回屋久島町ドラゴンボート大会に財団も参加しました。

夏の強い陽射しの中、懸命に漕ぎましたが、結果は初戦敗退...敗者復活戦も行われましたが、あえなく敗退しました。

敗因は極度の練習不足。大会の2週間前に出場を決めた、急ごしらえなチームでした。

今年の失敗をもとに来年は優勝を狙います！！



～財団職員がそれぞれの想う「屋久島」について語るコーナー～  
連載【屋久島を想う】 ⑤

『雨は好き？嫌い？』

研修センター勤務：丸 宏樹



社会人としての第一歩をここ屋久島で踏み出して早くも半年が経とうとしています。晴好雨奇な屋久島の大自然に魅了される毎日です！・・・が、一つだけ気になることがあります。

【雨が少ない】

屋久島は一月に35日雨が降ると言われるくらい雨の多い水の島。しかし今年は記録的に雨量が少ないようです。温暖化などが関係しているのでしょうか？

人間には疎まれがちな雨ですが、植物にとっては恵みの雨です。非人間中心に考えると雨がもっと降ってほしいです。

**屋久島環境文化村中核施設休館日のお知らせ**

村センター： 9/7, 9/14, 9/28  
10/5, 10/13, 10/19, 10/26  
研修センター： 9/7, 9/14, 9/24, 9/28  
10/5, 10/13, 10/19, 10/26

**今月のおすすめBook**

森の「いろいろ事情がありまして」

ピッキオと軽井沢野鳥の森の仲間たち 著

光合成を行わない植物に、芋の栄養によって性転換する不思議な植物、何キロも旅をする蝶、身近な小鳥の食生活...。この本には、とても多くの種類の動植物が登場します。まったく別の生き物同士が助け合ったり、かと思えば同じ生き物同士でいがみ合ったり...。小さな森を舞台に繰り広げられる生き物たちの赤裸々な私生活。自然を見る目が180度変わる本です。

< 研修センターにて閲覧出来ます >